

|        |                                        |
|--------|----------------------------------------|
| 研究課題番号 | 2-1909                                 |
| 研究課題名  | 土地利用変化による土壌炭素の変動量評価と国家インベントリへの適用に関する研究 |
| 研究実施期間 | 令和元年度～令和3年度                            |
| 研究機関名  | 森林研究・整備機構                              |
| 研究代表者名 | 石塚 成宏                                  |

## 1. 委員の指摘及び提言概要

IPCC 推奨手法と相補的な手法の開発と、それを用いた土地利用変化の信頼性の高いデータを作ったことは評価できる。IPCC タスクフォースへの貢献は良い成果である。サブ5で開発したAI リモートセンシング手法によるサブ1-4への貢献があれば、テーマ間での連携が大きく進んだはずで、その点は課題であった。

研究結果を科学的に公表し評価される科学論文、査読論文の数が大変少ないことは、科学への貢献や科学的意義の点から問題点が指摘できる。また、国民への対話の実施や報道への公表などにおいて実施数が0であり、公開性の観点からも物足りない。

## 2. 採点結果

評価ランク：A